

気象庁のアラートが令和8年5月29日変わります 音声でもレベル1~5の数字で発表されます。 解説pdf

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			

MAIN TITLE

2026年5月、防災気象情報が根本から変わる。

SUBTITLE

新システム「危険警報」「レベル3大雨警報」に連動する、業種別・緊急対策本部の設営判断（製造・物流・学校・介護）

PRESENTER INFO

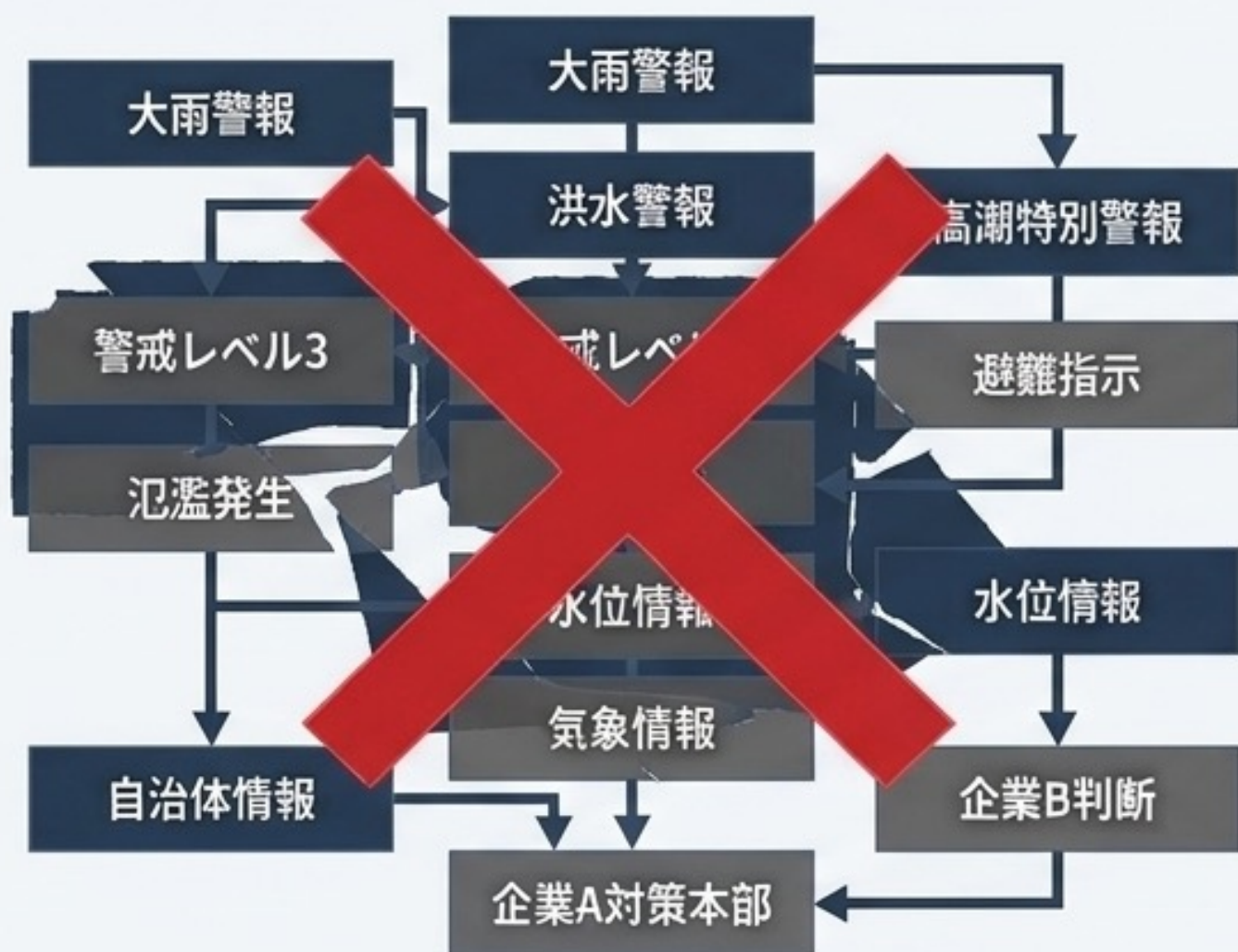
株式会社BCPJAPAN
代表取締役 山口泰信



CRITICAL BCP UPDATE: EFFECTIVE MAY 28, 2026

現行システムの課題：情報が多すぎて「いつ動くべきか」が曖昧

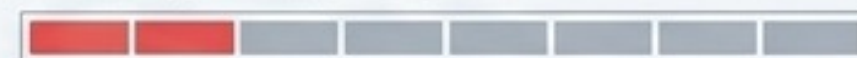
現状は「大雨警報」「洪水警報」「高潮特別警報」など情報名称がバラバラであり、企業が「どの段階で対策本部を立ち上げるべきか」のトリガーが不明確。



課題1：警戒レベル4相当の情報がない（大雨浸水害・洪水害など）。

ステータス：不明険

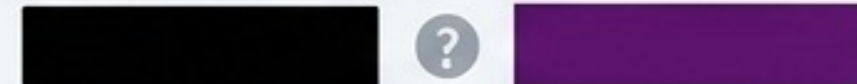
大雨浸水害・洪水害：情報不足



課題2：特別警報と警戒情報が同じレベルで混在。

ステータス：混乱

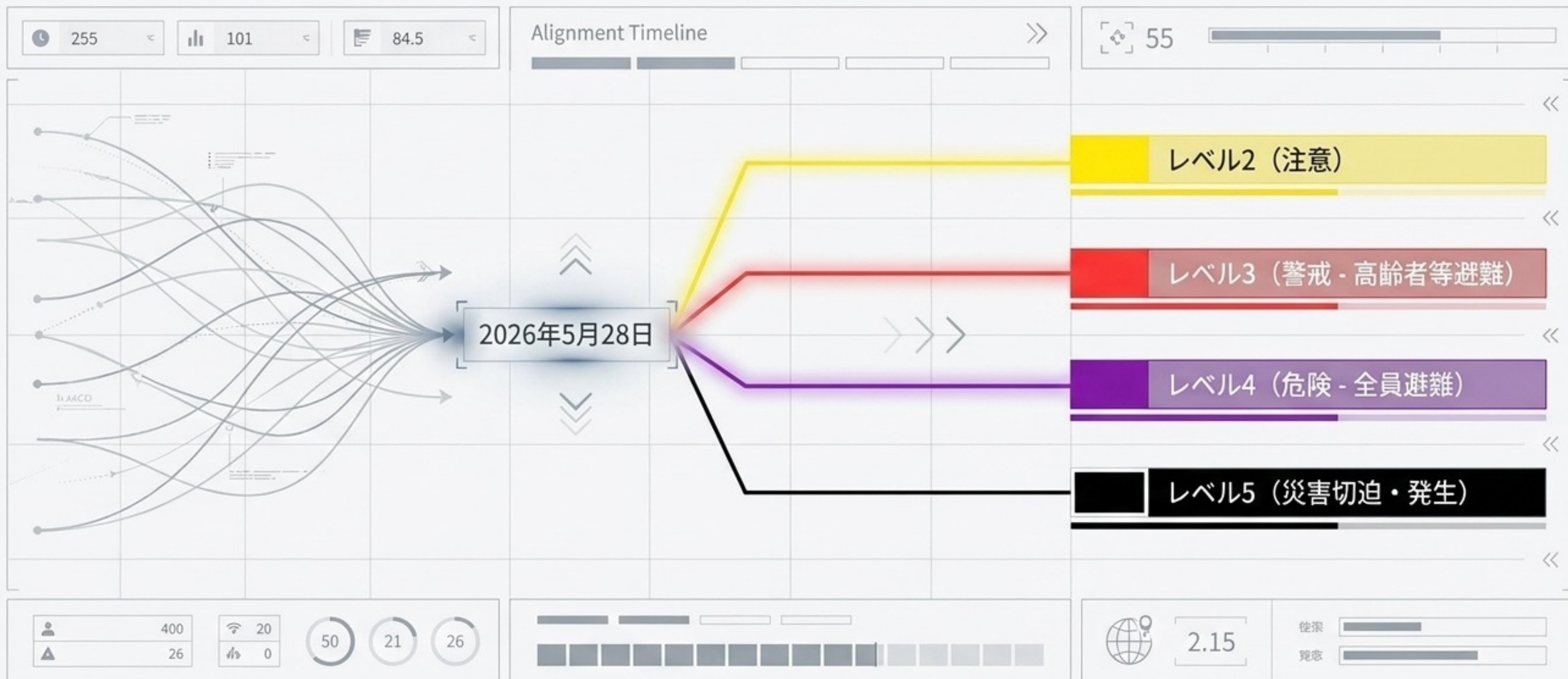
特別警報 (Level 5相当) ↔ 警戒情報 (Level 4相当)：同時表示



結果として、迅速な避難行動や業務停止の判断が遅れるリスク（平成30年7月豪雨などの教訓）。

2026年5月28日からのパラダイムシフト：直感的な「数字と色」への統一

避難情報の5段階の警戒レベルに防災気象情報が完全に対応。BCPの起動条件を「数値化」できる時代へ。



情報の二極化：「動くための速報」と「備えるための解説」



気象防災速報

端的な現象を速報的に伝える。



【初動・避難のトリガー】 対策本部の即時アクション（稼働停止、避難指示）を決定する絶対基準。



気象解説情報

現在・今後の気象情報を網羅的に解説する。



【予測・準備のソース】 対策本部の事前設営、翌日の操業計画、サプライチェーン影響の分析に使用。

400
20

20
0

50 21 26

2026/05/18 11:34:58

2.15

進捗
受渡

新名称「レベル3大雨警報」：脆弱な対象者への絶対的トリガー

[LEVEL 3] レベル3大雨警報



1

2

3

4

5



- ・名称に「レベルの数字」が直接組み込まれる。
- ・河川氾濫、大雨、土砂災害が同一レベルで連動。

対象：介護施設、幼稚園・保育園、特別支援学校

コマンド：この情報が発表された時点で、キキクルや水位情報を確認し、即座に避難・引き渡し行動を開始する。

400
20

20
0

50

21

26

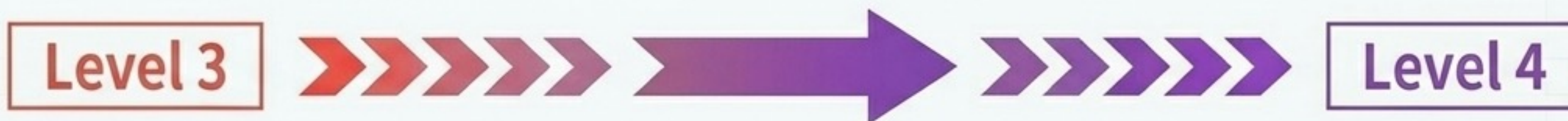
2036/05/18 11:34:58



2.15

接続
電波

新設「危険警報」：一般企業の最終デッドライン（レベル4）



[LEVEL 4] 危険警報

- 大雨浸水害・洪水害・土砂災害など、すべての災害種別において「危険な場所から全員避難」を指示する警戒レベル4に相当する新設情報。
- 旧体系の複雑さを解消し、単一の強力なシグナルとして機能。

対象：製造業、物流業、一般学校法人

コマンド：操業の完全停止、全従業員・生徒の安全確保
(または帰宅困難時の屋内待機)の最終判断ライン。

400
20

20
0

50

21

26

2006/05/18 13:34:58

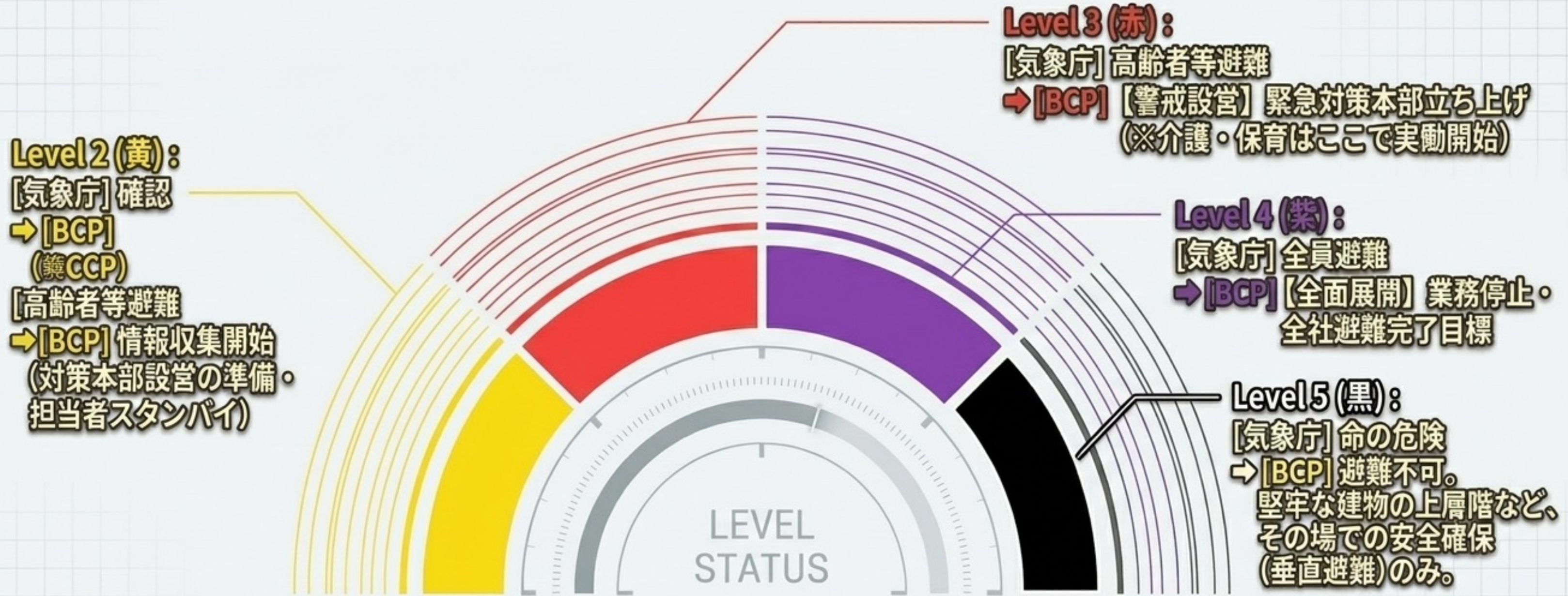


2.15

建築

突波

気象庁アラートレベルの「BCP翻訳ダイヤル」



400	20	50	21	26
20	0			

2006/06/18 11:34:58

Progress bars and status indicators

2.15

検索

帯送

業種別トリガーの分水嶺：守るべき対象で「本部の起動点」が変わる



災害弱者を抱える業種

業種： 介護事業所、幼稚園・保育園、
特別支援学校

絶対基準：レベル3

根拠： 避難に時間を要する。レベル4での行動開始は「逃げ遅れ」に直結する。



大規模操業・一般業務

業種： 製造業、物流業、大学・一般学校

絶対基準：レベル4

根拠： サプライチェーンや広域な人員移動を伴う。レベル3で「本部設営・準備」、レベル4「危険警報」で「即時停止」の2段階判断が必須。

400
20

20
0

50

21

26

2006/06716 11:34:58

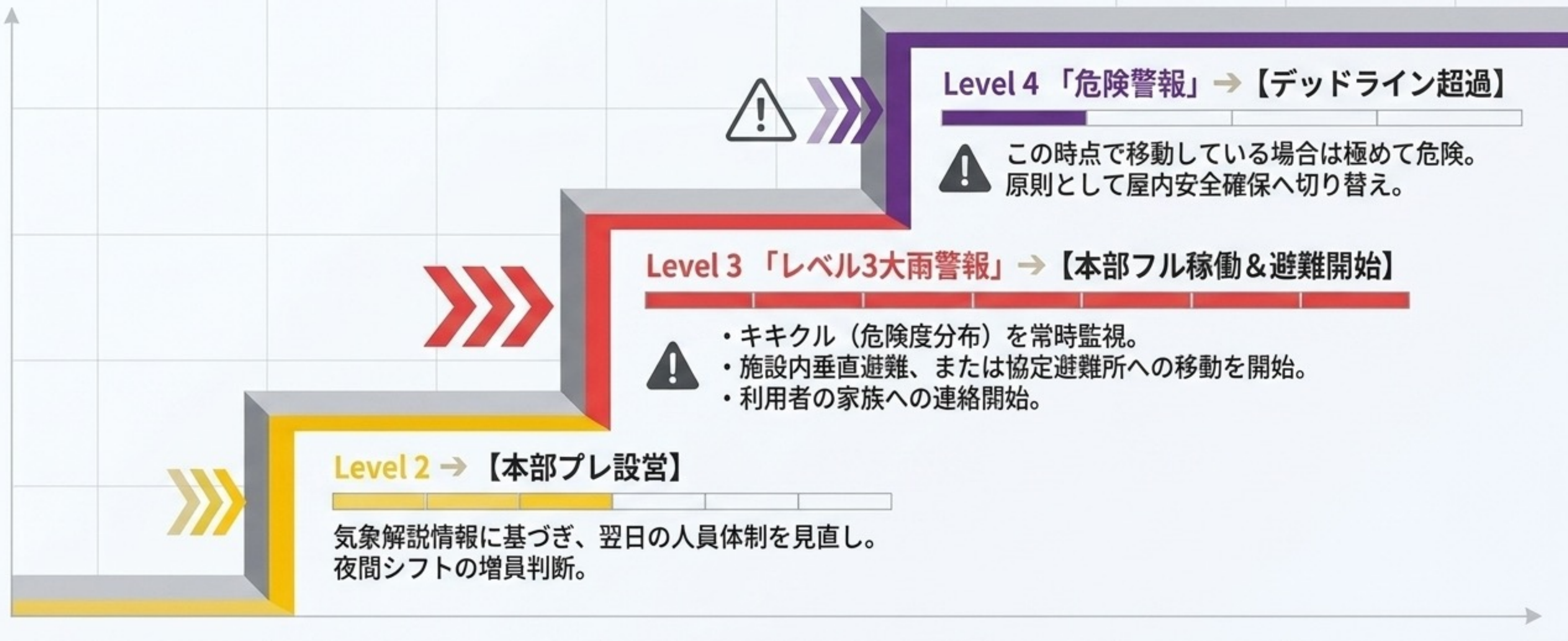


2.15

2.15
2.15

介護事業所の対策本部設営判断：レベル3を「最終防衛線」とする

介護事業所



学校・幼稚園の対策本部設営判断：保護者引き渡しのタイムリミット

幼稚園・保育園

Level 2
対策本部立ち上げ

Level 3
「レベル3大雨警報」で一育休園判断、
または保護者への即時引き渡しを実施。
交通機関が麻痺する前に完了させる。

小・中・高校

Level 3
対策本部立ち上げ（教職員の待機）

Level 4
「危険警報」発表時は、原則として下校させず、校内の安全な上層階での待機（学校留め置き）へ移行。下校中の被災を防ぐ。

2024/05/15 10:30:45



X: 32.59769'
B: 45°188.435'

11

1000

59

100

75

製造・物流業の対策本部設営判断：サプライチェーン停止の決断



Phase 1: レベル2

【警戒能勢】
気象解説情報を分析。
翌日の配送ルート変更、
屋外資材の固定・退避。

Phase 2: レベル3

【対策本部設営】
「レベル3大雨警報」で本部検働。

製造業：危険物タンクの水位確認、地下設備の稼働停止準備。
物流業：広域トラックの運行見合わせ基準の適用開始。

Phase 3: レベル4

【完全停止】
「危険警報」で全拠点の操業停止。
従業員の帰宅指示、または帰宅困難時の社内安全確保措置（BCP備蓄の開放）。



【保存版】2026年新基準対応：業種別・緊急対策本部アクションマトリクス

Y-Axis	 Level 2 (注意)	 Level 3 (警戒)	 Level 4 (危険)
介護事業所 >	本部プレ設営	▶ 【本部実動・避難開始】	▶ 【移動中止・垂直避難】
幼稚園・保育園 >	本部立ち上げ	▶ 【休園・引き渡し完了】	▶ 【施設内安全確保】
小・中・高校 >	情報収集	▶ 本部立ち上げ・教職員待機	▶ 【学校留め置き・帰宅禁止】
製造業・物流業 >	警戒態勢・ルート変更	▶ 【本部設営・操業停止準備】	▶ 【操業完全停止・安全確保】

2026/07/22 14:45:30



X 32.59.789°
B. 45°188.4.35'

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			

ありがとうございました。
お役に立てください。

